



真備緊急治水対策

2年目の記録

～1日も早い工事完成に向けて～

写真家
山崎エリナ 監修

山を切り開き川を創る 小田川合流点付替え工事



木を切って、土砂を掘削しながら、
大型重機が山頂に登るための道をつくる





山頂から本格的な掘削を開始
斜面は地盤の状況を確認しながらアンカーを設置



大型重機の活用



堤防の建設



掘削した南山の土を利用して、周辺の堤防を整備
排水を行うため、堤防の下には水路ボックスも設置



水路ボックスの建設



南山の掘削状況



付替え後の小田川の川幅を確保するために、山を切り開き川にします。
令和2年1月に、重機が山頂に到達し、本格的な掘削が始まりました。
令和2年10月末現在で山頂から約30mの掘削が完了しています。



高梁川と小田川を分離する堤防



草刈りや樹木伐採をおこない、高梁川や小田川の掘削土を利用して堤防を建設





土でつくった堤防に水が入らないよう、遮水シートを設置
その上に、水の力で堤防が削られないよう、コンクリート護岸を設置



 小田川村替え RS完成予定

**絶対に遅れない！
決意も込めて**

令和4年度 橋梁完成 に向けて



杭頭処理



地盤を掘削した後、地上で組み立てた杭の鉄筋を地下に挿入。コンクリートを流し込み、余分なコンクリートを切りとり（杭頭処理）、基礎杭が完成。さらに、鉄筋を組み立て、コンクリートを流し込んでフーチングと呼ばれる土台をつくり、柱の鉄筋を組み立て、コンクリート打設を繰り返し、安全な橋脚をつくっています。令和3年度に橋がかかり、令和4年度に現在の道路とつながる予定です。



橋脚部分の鉄筋組立



鉄筋の連結



品質チェック

橋脚完成



地域を支える





現場の力





ドローンで掘削前に測量



現場確認



河道掘削





川辺地区 矢板打設

堤防強化



服部地区 堤防拡幅

より強く安全に



土砂ストックヤード



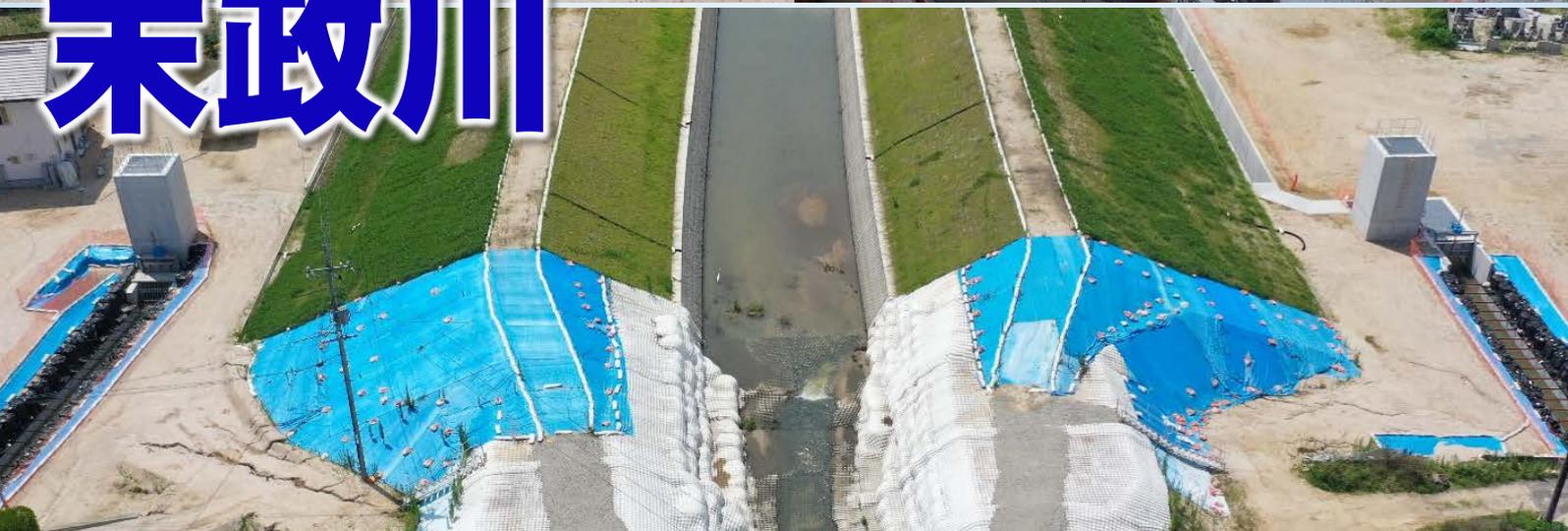
河底横過トンネル工事



平成30年7月豪雨により被災した、末政川を横断する用水管の復旧工事。末政川の地下をシールドマシンで掘り、東側と西側の用水路をつなげる。現場の土質条件が悪く、かつ、すぐに地下水が湧き上がってくるなど、劣悪な条件であったが、無事、用水期間までに通水完了。

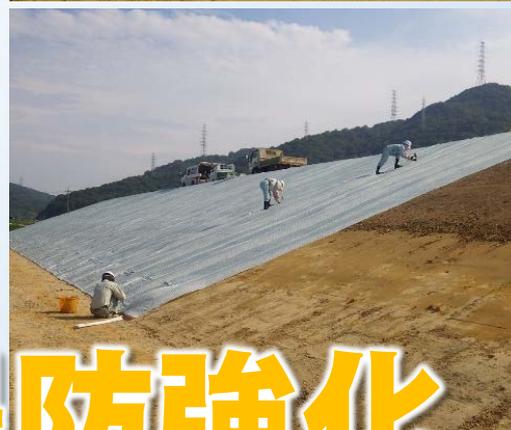


末政川



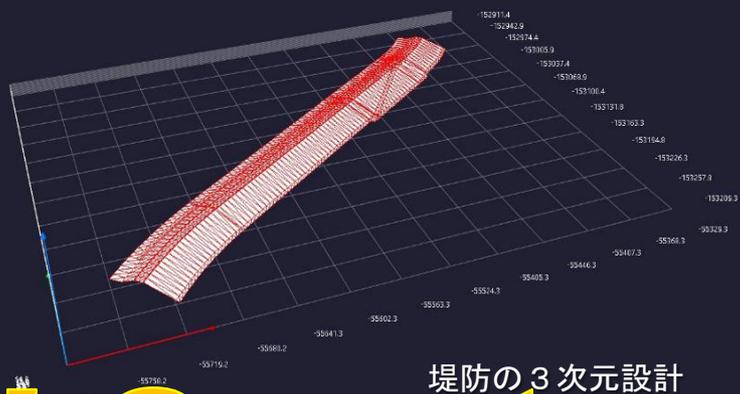


真谷川



堤防強化





i-Construction

～建設現場にICTを導入～

1日でも早く工事を完了するため、最新技術の活用や大型化重機の活用など、様々な工夫を行いながら工事を進めています。

※i-Construction (アイ・コストラクツィオン)
測量や設計、施工など建設現場にICTを導入し、建設生産システム全体の生産性向上をはかっています。



大型重機の活用



工事の工夫

粘土分が多い小田川の土と砂分が多い高梁川の土砂を混合し、堤防の材料としてふさわしい土砂を製造





小学生を対象とした
現場見学会

地域の一員として



工事見学所



地域の避難先
(熊野神社)に
快適トイレを寄贈



ODAGAWAウオーク（現場見学会）

建設企業の取組



小学校等へマスクの寄贈

真備のために役立ちたい。
そんな思いで働いています。
ともに進めよう！
わがまち、真備の復興を



災害にもコロナにも負けない！そんな思いを込めて



小田川の合流点付替え事業など、真備緊急治水対策プロジェクトは令和5年度末までの完成を目標に、工事を進めています。
1日も早く地域の安全を確保できるよう、全力で取り組んで参ります。





Instagram

@takaoda2019

工事写真を毎日発信中！



作成日：2020年11月18日（土木の日）

作成者：国土交通省 中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
岡山県 備中県民局

写真提供：フォト・マービー（真備地区写真愛好家サークル）

協力：岡山県建設業協会

監修：山崎エリナ（写真家）